



教員紹介

経営学部

朴 根模 PARK Keunmo

職位	講師
最終学歴	名古屋大学大学院人文学研究科文化人類学専攻 博士後期課程 修了
職歴	2024年3月博士終了後、現職
学位	博士（文学）
資格（免許）、認定	
担当科目（学部）	自分づくりセミナー I II / 総合基礎演習五 1 II / 地域文化論 / 国際労働文化人類学 / 異文化理解演習 C(韓国) /
担当科目（大学院）	
学生へのメッセージ	私は韓国で生まれ育ち、2018年から日本で留学していました。そして、今年教員としてのスタートを「星城大学の皆さん」と共に迎えられたことを嬉しく思っています。“どうすれば充実な、実りのある大学生活を過ごせるか！”については、正解はなく、人それぞれだと思いますが、私は“恐れずに、また悔いを残さないようにとにかく、自分ができること、やってみたいこと、せざるを得ないことに全部チャレンジし、経験してみる”ことをお勧めしたいです。そのなかで身に着けるものは、皆さんが人生の次のステップを踏み出す際に、あるいは踏み出すための大きな力になるでしょう。ここ星城大学には、皆さんを応援し、支えてくれる多くの教員・大学職員がいて、私自身もできる限りのサポートをしたいと考えています。
研究内容	・食文化から捉える文化の創造（過程） ・文化交流（観光や旅行・国際交流・大衆文化伝播など）における食文化
研究分野キーワード	食文化 / 日韓文化交流 / エスニックタウン / 文化の受容と変容 / 異文化コミュニケーション
URL	
著書	
論文	1) 朴根模、「食文化と国家イメージの結びつきを巡る「想像」－日本で作られる「韓国」食品と料理の普及を事例に－」名古屋大学博士論文、2024.

	<p>2) 朴根模、「日本における韓国食の移動と融合ー人・マーケット・社会環境の相互作用からー」、名古屋大学人文学フォーラム、6号、pp213-228、2022.</p> <p>3) 朴根模、「日本社会と韓国食の融合における社会・文化的背景ーメディアを介する日本社会と韓流・韓国食の相互作用から」、比較日本学、No55、pp31-52、2022. (漢陽大学日本学国際比較研究所ー韓国)</p> <p>4) 朴根模、「日本におけるキムチの文化翻訳についてー日本のキムチと在日コリアンを巡る社会・経済構造及びネットワークを中心にー」、日本研究、No56、pp213-234、2022. (中央大学日本研究所ー韓国)</p> <p>5) 朴根模、「The transformation of food culture in Zainichi Korean society an Anthropological case study of the Ikano-Ikuno area」越境文化研究イニシアティブ論集、第3集、pp83-97、2021. (Research Note)</p>
<p>学会発表</p>	<p>1) 朴根模、「日本社会における韓国食の受容と変容ー韓国食を巡る日本社会及び人々の「匂い」を中心にー」『日本文化人類学会 2022 年度次世代育成セミナー』、2022 年 11 月、オンライン.</p> <p>2) 朴根模、「在日コリアン社会の食文化変容に関する人類学的考察ー大阪市猪飼野・生野地域を事例にー」『中部人類学談話会』、2020 年 9 月、オンライン.</p> <p>3) 朴根模、「グローバリゼーション下社会における食文化の均質化・現地化・混成化ー日本社会における韓食消費の在り方を事例にー」『名古屋大学・台湾大学第 6 回大学院生研究交流集会』、2020 年 9 月、名古屋大学.</p> <p>4) 朴根模、「腐敗と醜酔の町ー猪飼野から生野コリアンタウンを巡る在日文化表象」『第 6 回日韓学術交流会』、2019 年 2 月、名古屋大学. (ポスター発表)</p> <p>5) 朴根模、「在日のアイデンティティ形成と変容に関する考察ー新世代在日コリアンの変化を中心にー」『名古屋大学・木浦大学大学院生研究交流集会』、2018 年 8 月、木浦大学.</p>
<p>社会的活動 (公開講座・講演・ 国際交流など)</p>	<p>日本文化人類学会 韓国文化人類学会</p> <p>世界平和の日韓国組織委員会 (Korean Organizing Committee for UN International Day of Peace) 日本プロジェクトマネージャー</p>
<p>その他</p>	<p>Wetravel Inc 日本ツアー企画協力パートナー</p>